

- ☐生活支援 ☒見守り ☒協議体
☐買物支援 ☐配達 ☒その他
☐移動支援 ☒居場所づくり

20

本俣自治会のささえ愛（住民主体の助け合い）

薩摩川内市 高齢・介護福祉課



地域の概要



薩摩川内市東郷町の藤川地区。阿久根市との境にある、本俣自治会。世帯数は17世帯、全住民で27名。1世帯以外は**全員高齢者**、70歳以上の方が70%を占めています。



取組のきっかけ

30年以上続く本俣のサロン「本俣かじかの会」。
サロンを担当しているMさんが、「買い物が大変になってきた」と東郷担当の生活支援コーディネーターに相談したことがきっかけ。



取組の目的

- サロンの継続
- 自治会全体で支え合う
- サロンだけではないつながり
- 見守り活動
- 孤食防止
- 移動販売が集いの場
- 私たちはこれからもここで生きる



これまでの経緯

年・月	出来事
令和3年8月	ふれあい・いきいきサロン「本俣かじかの会」を生活支援コーディネーターが訪問
令和3年9月	東郷地域のサロン代表者が集まる会「サロン連絡会」で、「本俣かじかの会」代表Mさんから、「サロンの際に食事を提供しているが、買い物が大変になってきた、サロンが継続できない」と相談を受けた。
令和3年10月～12月	・生活支援コーディネーターが毎月サロンに参加し、参加者から話を伺い現状把握 ・生活支援コーディネーターから、サロン代表者のMさんが相談した内容について、本俣自治会長兼民生委員のTさん、健やか支援アドバイザーのRさんへ相談（TさんとRさんは夫婦）
令和4年1月～	サロン代表者Mさんの悩みであった、買い物は、参加者でもあるRさんが担うようになり、サロン代表は、そのままMさんが継続することとなった。 月1回のサロンは役割を分担し継続することになった



活動の概要



↑役割を分けながら、サロンの継続
 ●買い物→ Rさん（運転可）
 ●調理→ Nさん（そのまま）
 ●サロン代表→ Mさん（そのまま）
 活動は、脳トレ、おしゃべりや食事。
 みんなで役割分担をしながら工夫して



→●自治会副会長のNさんが自治会の配布物の配布が困難。運転ができるRさんが配布を手伝い。



お付き合い歴30年以上
 平均年齢85歳♡
 最高年齢94歳♡

サロン以外でも、
 強くつながり助け合う



←●年2回の清掃作業。本俣自治会長Tさんは、作業の1か月前に本俣自治会出身者に協同を求める手紙を送付。毎年多くの出身者が地元集まり、地元住民と出身者との交流の場となっている。



↑●『結いの郷 ふれあい館』出身者が帰省した際の集いの場。故郷である本俣と出身者をつなぐ。

←●炭窯を作り、炭焼きを数年ぶりに開催！



取組における行政担当者・生活支援コーディネーターとしての役割

〔行政担当者としての役割〕
 ●2層SCと情報共有
 ●本俣の活動について広報

〔SCとしての役割〕
 ●サロン代表者との連携
 ●本俣自治会の方のつながりを発見、意識化、見える化、見せる化、共有
 ●サロンの調整



担当SC：Y



現時点での到達点（効果・課題など）

〔効果〕

- 見守り・見守られ
- 孤食防止
- 役割を持ち、生きがい活動となっている
- 介護予防
- 助け合い

〔課題〕

現時点で、60代世帯が本俣自治会を支えているが、5年10年後は人口減少や高齢化により現状を維持できない